

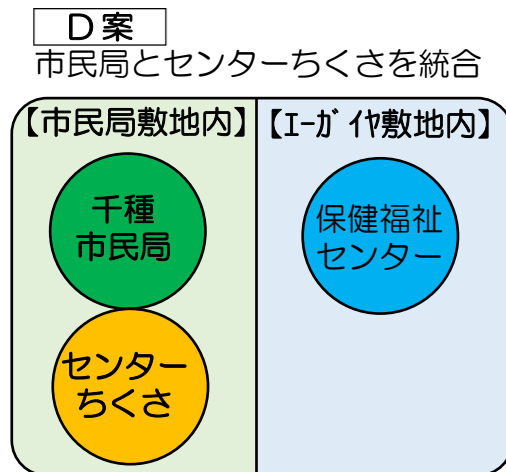
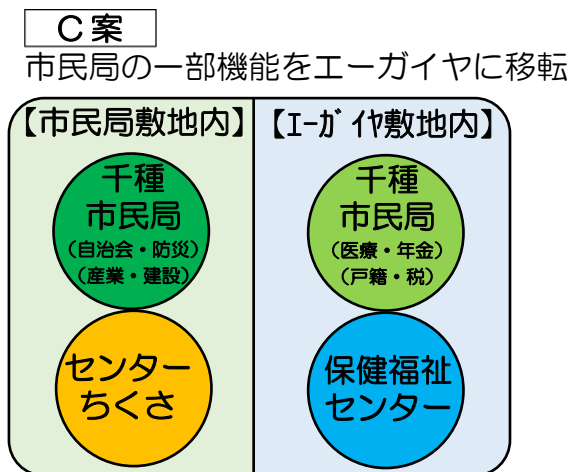
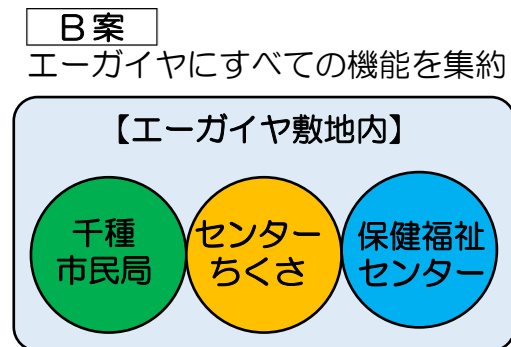
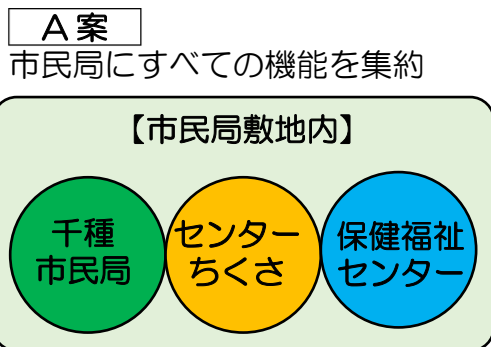
もり はじ きよてん 森林から創まる「ちくさの拠点」づくり

— みんなで進める地域の基地づくり —

5月9日に「第10回千種生活圏の拠点づくり検討委員会」を開催しました。今回は、これまでの議論を反映した「拠点づくり計画」の案を委員の皆様を確認していただきました。まだ、委員会でも議論をしている最中ですが、そのうちの行政機能の位置づけについて、素案の一部をご紹介します。

＜行政機能をまとめるのか、分散するのか＞

現在、市民局とセンターちくさ、エーガイヤの保健福祉センターに行政機能が分散していますが、将来的な利便性や賑わい、維持管理費などを考え、行政機能の位置づけを次の4案を元に検討を進めています。



C案 市民局の「一部機能の移転」について

市民局からエーガイヤに戸籍・税・医療・年金などの窓口機能を移転し、自治会や防災、産業や建設に関する機能は今の位置にあります。

○機能集約型の A 案・B 案について

- ・利便性に優れ、地域内外から人が集まる拠点として、地域の賑わいづくりに繋がることを期待されます。
- ・敷地面積が不足することにより、必要な機能が入りきらないことや、慢性的な駐車場の不足が予想されます。

○機能分散型の C 案について

- ・市民局の窓口業務をエーガイヤに移転することにより、戸籍や介護、医療と年金など結びつきの強い業務が集まり手続きがしやすくなります。
- ・移転により、市民局周辺の賑わいや、商店街の利用に影響がでることが心配なところです。

○機能分散型の D 案について

- ・現状と変わらない形となるため、周辺への大きな影響がありません。
- ・戸籍や介護、医療と年金などの手続きを行う場所が分散したままの状態が継続することになります。

この「ちくさの拠点」づくりを通じて、みんなで支えあい、地域で助けあっていける暖かいまちづくり、いつまでも千種町に住み続けることができる環境や体制づくりに繋げていきたいと考えています。

そのためには、世代や地域を超えて交流を促進し、地元商店街の利用に繋げていくことや、個人や団体がお互いに連携し、新たな取組が生まれてくる、そんな拠点が必要ではないかと思えます。

次回の委員会で、行政機能も含めて拠点に必要な機能について議論を進めていきます。また、委員会としての素案を固めていくため、皆様のご意見を伺うことも予定しています。

拠点づくりについて、何かご意見ありましたら、下記の間合せ先または委員の皆様にお伝えいただければと思います。

※ 次回の委員会は、6月6日（水）午後7時からエーガイヤちくさ保健福祉センター会議室で開催します。どなたでも傍聴できますので、お時間がありましたらぜひお越しください。

■ 千種生活圏の拠点づくりに関するお問合せ先

穴粟市役所企画総務部 地域創生課

電話：0790-63-3066

FAX：0790-63-3060

e-mail：chiikisosei-kk@city.shiso.lg.jp

千種市民局まちづくり推進課

電話：0790-76-2210

FAX：0790-76-8020

e-mail：ch-machizukurisuishin-kk@city.shiso.lg.jp

